

といちくだよい

12月号
December

発行責任者 / 鎌谷 一也 編集責任者 / 西村 京二 2009(平成21年) 12月号 鳥取県畜産農業協同組合



11月10日(火)職員研修で西山さんの牛舎で説明を受けている様子

師走

代表理事専務 西村 京二

師走とは、陰暦で12月のこと、といっつのは皆さんご存知ですね。

「師走」は当て字で、語源は諸説あり、正確なところは未詳のようです。師走の主な語源説として、師匠の僧がお経をあげるために、東西を馳せる月と解釈する「師馳す(しはす)」があります。この説は、平安末期の書物の中に「しはす」の注として説明されており、現代の「師走」の漢字の意味も近く、私もそうですが、大方の人もこのように解釈されているのではないのでしょうか。

さて、昨年に全世界を不況に落とし込んだリーマンショックを引きずって始まった平成21年でしたが、あっといっ間にわずかな月数を残すのみとなりました。

この間金融のみならず、あらゆる業態が不況の波に吞まれ、失業と倒産が相次ぎ、未だもって景気回復の兆しが見えませんが、

当組合も、計画比、前年比ともクリアした昨年と比べいずれもかんばしくない状況が続く、残り2ヶ月でいずれかを達成するのも困難な状況です。

年度当初に感じた消費者の財布の紐の固さは相変わらずで、10月18日に開催した第5回畜産まつりには、チラシ、企画とも良かったこともあり、昨年の1.5倍の約4千〜5千人の来場があったと推測されました。

しかし、わかば店に立ち寄って買い物をされたお客様は昨年の11156人に対して1075人だったのです。ここまでとは思いませんでした。

師走の語源はその他にいくつかありますが、そのひとつに「一年の最後になし終える」意味の「為果つ(しはつ)」からとする説があるそうです。

この師走なんとしても頑張らねばなりません。少し早いです、組合員並びにご家族の皆様にはお体ご慈愛の上、良いお正月をお迎え下さい。

毎月恒例の「お肉の日」イベント

総務事務管理部 森田

11月28日(土)、とりちく恒例のお肉の日のイベントを開催いたしました。天候にも恵まれ、たくさんのお客様にご来店いただきありがとうございました。

わかば店では、豚汁の無料試食、ホルモンそば、牛串、鶏もも串、もち・新米等を販売しました。当組合店舗、つこのい店、トスク本店直売所でもイベントの催事が行われました。

来年は当組合が設立30年記念の年になる事から、今回、皆様感謝とお礼の気持ちを込めて、謝恩特価セール、各種イベントを11月第2土曜日から週末に、3回イベントを開催いたしました。12月も役員一丸となって地元のおいしいお肉、鳥畜組合様の自慢の牛(を)を皆様に味わっていただくために、努力して行きたいと思っています。いつもの事で、組合員様には申し訳ありませんが、ご協力していただけたらありがたいかと思えます。よろしくお願いたします。



飼料稲収穫について

株東部コントラクター専務 遠藤

今年も飼料稲の収穫を職員6名、アルバイト10名と総勢16名で、毎日天気予報とにらめっこしながら日々作業を行いました。

生育など、夏場の長雨や気温等の影響も心配しましたが、それに成長??してくれました。

9月10日～10月23日までの約40日間が収穫期間となり、今年も台風にあつて倒伏し、作業が少し困難な場所もありましたが怪我也機械の大きな故障もなく、無事収穫を終えることができました。

今年度の収穫面積は、121ha(気高含む)です。収量は99520kg(平均820kg)でした。

今後コントラクターの仕事としては、堆肥運搬、散布作業やソルガムの刈取などに加え、土曜日にわかば店のイベントでもちつきなどを行っています。





10日 西山さんの牛舎で説明を受けている様子



10日 西部哺育センターで説明を受けている様子



10日 西部哺育センターで集合写真



12日 谷永さんの牛舎で説明を受けている様子



12日 大山まきばで集合写真



12日 アスパル店にて見学中

職員研修レポート

生鮮館 長田

今回の研修は、施設の見学と職員交流が主な目的でした。

私が参加した3日目の研修では、大山町の谷永さんの牛舎、西部哺育センター、アスパル店など、普段は見られない施設を視察研修し、当組合の事業内容や店舗の状況をより知るいい機会になりました。

具体的な発見や感じたことをまとめると、まず、谷永さんの牛舎では、牛の寝床みたいなスペースが1頭ずつに設けられていました(フリーストール)。

さらに、牛のかゆみ防止か遊びのためか分かりませんが、ワラみたいなものが吊るしてあり、牛が吊るしてあるものに体を擦りつけていました。美敷牧場にはこういったものはなかったと思います。

次にアスパル店で商品を見て、私が働く生鮮館とは商品の陳列の仕方や、肉の盛り付け方が異なっているものがあり、店舗によっていろいろな違いがあることを実感しました。

最後に、3日目の研修では他食品業種や、お菓子の壽城に寄りました。壽城では、商品がどのように作られているかがわかる見学スペースがあって、とても綺麗で見やすかったです。当組合の工場見学スペースもあのくらい見やすくていいと思えました。

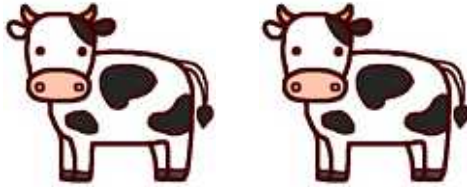
以上簡潔に書きましたが、感じたことは他にもあり、私にとっては有意義な研修になりました。他の部署の職員にとっても、当組合事業について新しい発見をするいい機会になったと思います。

11月の主な日程

日付	行事
11月 2日	夕礼、ISO全体集会
11月 10日～ 12日	職員研修
11月 23日	特別委員会
11月 26日	生産委員会

12月の主な日程

日付	行事
12月 1日	食肉委員会、夕礼 ISO全体集会、忘年会
12月 2日	総務委員会
12月 11日	若葉台小学校もちつき
12月 14日	理事会 / 忘年会
12月 30日	鳥畜もちつき



とりちくの各部署職員

紹介コーナー 2

組合員皆さんには日頃より当組合の事業にたいして日頃より、ご理解、ご協力を賜りありがとうございます。
引き続き第2加工の職員を紹介します。

後列右から

森マネージャー

谷口職員

村上職員

加藤職員

ニマ研修生

小松職員

前列右から

浦川職員

高本職員

光浪職員

中嶋職員



編集後記

いつも思いますが、日々時間に追われていて、一日が終わるのが早いと思っていいたら、もう今年も終わりに近づいてきました。

年末に近づく恒例行事の大掃除があります。基本的に掃除の苦手な私は少し憂鬱になります。だけど、掃除をしないと、気持ちよく年が越せない気がします。昨年は大掃除をして臨時収入があったので、今年も臨時収入があるかも？と期待しつつ頑張りたいと思います。

それと、今年は雪がどれだけ降るのか心配しています。カメムシが多いと、カマキリが卵を地面より上に産めば産むほど、などと聞きますが実際はどうでしょうか？

(もりた)

お問い合わせ先

鳥取県畜産農業協同組合

住所: 鳥取市若葉台南7丁目2番11号

Tel: 0857-52-1129

Fax: 0857-52-1131

e-mail: info@torichiku.or.jp

HP: <http://www.torichiku.or.jp>